

馬鈴しよ亀裂いもの種いも価値について

北野保樹・佐田 満・室園正敏
(長崎県総合農林センター・愛野馬鈴しよセンター)KITANO, Y., SADA, M. and MUROZONO, M.
The Propagative Value of the Cracked Tuber for Seed Potatoes

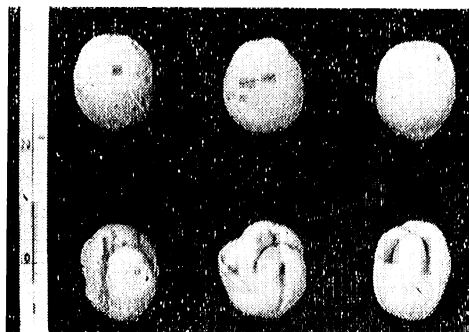
亀裂いもは蔬菜用としてはその価値がおちるが、種いもとしてならその目的を達しうるのはないかとの考えのもとに、昭和37年秋作、38年春作及び秋作の3作にわたり、亀裂いもの種いもとしての能力の検討を行った。

試験の実施にあたり御教示戴いた宮本センター長に深謝の意を表す。

1. 試験方法

- 1) 供試品種 シマバラ
- 2) 1区4.5m², 畦巾60cm, 株間25cm, 30株, 3区制, 乱塊法
- 3) 試験区の構成
 - (1) 亀裂いも区 120g前後の亀裂いも(第1図)を縦に4切して種いもとして使用した。
 - (2) 標準区 120g前後の亀裂のないいも(第1図)を縦に4切して使用した。
- 4) 施肥量 a当 硫安3.0kg, 過石4.5kg, 硫加2.0kg, 堆肥100kg, (すべて基肥)
- 5) 植付期 春作 38年 3月3日
秋作 37年 9月6日, 38年 9月7日
収穫期 春作 38年 6月17日
秋作 37年 12月1日, 38年 11月30日
- 6) 中耕, 培土, 薬剤散布は適宜行つた。

第1図 供試種いもの亀裂状況



(注) 上: 標準いも, 下: 亀裂いも

2. 試験結果

37年秋作及び38年春, 秋作における地上部及び地下部の調査成績を第1表に示す。

37年, 38年の成績では、収量には総計的有意差は認められない。以上の結果から亀裂いもは種いもとしての生産力に於ては正常いもと差がないといえそうである。ただ、38年の春作に於て亀裂いもが多数発生したが、亀裂いも重歩合に於ては統計的有意差は認められないが、亀裂いも数歩合に於ては有意差が認められる。この点については今後更に検討を加えたい。

第1表 地上部及び地下部調査成績

作別	調査項目 区別	萌芽期	萌芽率	茎長	茎数	株当地	株当上	a当上	同左	上いも平	亀裂いも	亀裂いも
		(月日)	(%)	(cm)	(本)	上部重 (g)	いも数 (個)	いも重 (kg)	標比 (%)	均一個重 (g)	歩合 (%)	歩合 (%)
37年秋	亀裂いも区	9.17	100	—	—	102	3.6	262.70	98	108	0.6	—
	標準区	9.17	98	—	—	97	3.5	267.17	100	113	1.0	—
38年春	亀裂いも区	4.6	100	—	—	146	4.9	175.33	97	57	76	83
	標準区	4.6	100	—	—	149	5.2	181.33	100	54	64	74
38年秋	亀裂いも区	9.16	100	43	2.4	119	4.5	244.86	100	82	3.5	4.5
	標準区	9.15	100	44	2.7	103	4.5	245.60	100	82	3.2	4.7